

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 犬山商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考	
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価					
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足
巡回・窓口相談指導事業	市内の大半を占める小規模事業者の経営基盤の強化安定を図るため、各種相談、講習会等の経営情報提供を行うとともに、未指導企業の巡回を積極的に実施し、意欲と可能性のある企業の経営改善を支援することにより、商工業の活性化を目指す。	・巡回窓口指導企業数 588社（経営指導員3人＋補助員2人） ・巡回窓口指導延件数 1,138件（経営指導員3人＋補助員2人） ・課題解決提案件数 32件（経営指導員3人） ・経営革新承認件数 1件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 112.7 %)	指標 課題解決提案件数 (達成度 106.7 %)	得られた効果 小規模事業者に対して各種施策普及や経営改善指導を行うことにより、企業の経営力強化につながり、経営の安定が図られた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	小規模事業者のきめ細かい相談指導を行うための経営計画書策定支援につなげる。指導件数は現状維持とする。			
記帳継続指導事業	経営改善普及事業の一環として、小規模事業者の自主記帳体制を支援するため、記帳担当者の指導により、日々の記帳から決算確定申告まで一貫した指導を実施することにより、事業主等が経営内容を把握し、経営改善することにつなげる。	・指導対象者数 74人 ・指導延日数 649日 ・指導延回数 871回	小規模事業者	指標 指導延回数 (達成度 126.2 %)	指標 指導対象者数 (達成度 100.0 %)	小規模事業者に対して記帳指導を行うことにより、計数的に企業の経営内容を把握し、経営力強化につながり、経営の安定が図られた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 上げる 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	十分、記憶能力があった事業所について、卒業を促す。記憶知識が少なく税務申告を円滑に行っていない事業所を募集する。			
講習会開催事業	地区内の小規模事業者に対して、経営改善に必要な個別講習事業及び集団講習事業を行い、経営の資質向上につなげる。	講習会開催回数及び受講予定者数 集団 2回 15人 (内、経営革新 1回4人) 個別 30回 136人 計 32回 151人	小規模事業者	指標 (集団) 延事業参加者数 (達成度 125.0 %)	指標 (個別) 延事業参加者数 (達成度 84.0 %)	法律・税務・環境・人材育成・経済問題などのセミナーや個別相談を通して、各企業の経営体質改善につながった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 現行どおり 実施方法②	法改正の普及等受講者数の増加を目指す内容を検討する。また、効率が低い個別相談の開催を知ってもらうような周知を考える。			
講習会開催事業(市補助事業)	地区内の小規模事業者に対して、経営改善に必要な個別講習事業を行い、経営の資質向上につなげる。	講習会開催回数及び受講予定者数 個別 69回 35人	小規模事業者	指標 (個別) 延事業参加者数 (達成度 100.0 %)	指標 (達成度 %)	個々のフェーズに応じた諸問題に対して各分野の専門家指導により解決に導いた。また、創業を希望される方への伴走支援ができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 現行どおり 実施方法①	目標② 実施方法② 変更する	相次いで直面する制度変更等に対応する取り組みを各分野の専門家の助言を得ながら積極的に支援する。令和年度は相談会延べ回数を目標とする。	○		
若手後継者育成事業	将来の地元経済を担っていく若手経営者、後継者や女性経営者等の資質向上を目指して育成支援を行い、地域の振興活性化につなげる。	・青年部事業参加者数 965人 (内若手後継者育成事業 35人) ・女性会事業参加者数 250人 (内若手後継者等育成事業 0人)	小規模事業者	指標 青年部延事業参加者数 (達成度 107.2 %)	指標 女性会延事業参加者数 (達成度 64.1 %)	経営に関する研修や会員間の交流・他団体との交流を通じての情報交換により、経営革新やビジネスの拡大が図られた。また後継者の経営力向上につながった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 上げる 実施方法①	目標② 下げる 実施方法②	組織増強を行い、地域振興に寄与する幅広い事業展開を進める。併せて講習会を通じて資質向上を図る。			
商談会事業	各種の商談会やビジネスマッチング事業へ積極的に参加して、企業交流の場を提供することにより、新たなビジネスパートナーの発掘をし、ビジネスチャンスの拡大を目指す。	商談会等ビジネスマッチング事業参加事業所数 ・地域商談会（尾張会場）9件 ・アライアンスパートナー発掘市 8件 ・メッセナゴヤ5件	中小・小規模事業者	指標 延参加事業所数 (達成度 110.0 %)	指標 (達成度 %)	新たなビジネスパートナーを発掘し面談することにより、企業PR、新企業との取引開始、共同研究、新分野進出につながった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 上げる 実施方法①	目標② 実施方法②	受注を希望する事業者が多く潜在していると思われるため、よりこいういった機会を活用するように周知をしていく必要がある。	○		
地域振興事業	商店街や個店が衰退していくなか、地域の特長を生かした活性化を図るべく、国・県・市等の補助事業を活用し、各地の事業者が中心となって地元住民と一緒に地域を活性化するための取り組みを支援する。また、犬山市内の事業者が地元犬山の企業をBtoBでつながり取引ができるように「知産地消プロジェクト」を推進する。	事業参加者数 ・知産地消プロジェクト 110社	小規模事業者	指標 知産地消プロジェクト (達成度 137.5 %)	指標 (達成度 %)	羽黒げんき事業は、コロナ禍の影響を尾に引き、継続が困難となった。また、知産地商事業は、犬山市内での取引を促すためのきっかけとなりつつある。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A 補足	目標① 上げる 実施方法①	目標② 実施方法②	羽黒げんき事業は廃止する。知産地商で域内取引を活発にできるように参加者数を増やす。			

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 犬山商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考								
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価			今後の展開・改善点等							
部会・委員会事業	中小・小規模事業者の商業者の活性化のために、業種ごとの部会で、その部会委員が営んでいる事業の改善発達と部会員相互の連携協力につながる事業を実施することにより、商工業の活性化に寄与する。	部会（6部会） 商業（4）工業（6）建設業（4） サービス業（6） 委員会（4委員会） 中小企業（4）・街づくり（2） ・国際（4） ・地域開発（3） 小規模企業振興委員会（7）	中小・小規模事業者	指標	部会開催数 (達成度 83.3 %)			指標	委員会開催数 (達成度 90.9 %)			部会委員会事業は、各部会委員会を通じた小規模事業者の意見を吸い上げた事業をおこなっている。各業種のニーズやタイムリーな企画で域内小規模事業者の支援として役立った。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	今後も参加者の増加を目指す内容の企画立案をする。また、会員事業所の意見の吸い上げを効果的に行う。
				目標数値	24	実績数値	20	目標数値	22	実績数値	20					A		A		必要性	下げる	
産業団体等指導事業	商業団体から事務委託を受けて、それぞれの団体と連携を取って商工業者等の活性化のための事業や運営の支援を行う。また、犬山まちづくり(株)の支援を行う。	事業等支援回数 ・犬山ニュータウン商店街(1) ・犬山PHP経営を考える会(7) ・犬山まちづくり株式会社(12) ・犬山商工会議所青年部OB会(3)	小規模事業者	指標	延支援回数 (達成度 104.5 %)			指標	(達成度 %)			会議所と各委託団体との連携強化と各団体会員への経営改善普及事業のPRができた。また、委託団体を通じて域内小規模事業者への支援に役立つような情報を入手することができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	各団体が行う総会等へ会議所が行う経営改善普及事業のパンフレット等を配布し、施策の浸透を深める。
				目標数値	22	実績数値	23	目標数値		実績数値						A		A		必要性	上げる	
人材確保事業	他商工会議所や近隣の大学等と連携して、中小企業の人材確保を目的に市内小規模事業者等の支援を行う。また、外国人雇用、障害者雇用への施策普及を行う。	中部大学 学内業界研究会の開催(1) 名古屋経済大学学内企業研究会の開催(開催枠なし)	中小・小規模事業者	指標	事業実施回数 (達成度 50.0 %)			指標	(達成度 %)			若年求職者の職業選択や就職に関する知識・能力の向上及び企業の人材確保につながった。また、域内小規模事業者の人手不足の解消にも一役買った。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	小規模事業者の人材確保につなげるため、求職者の参加者数の増加を図る工夫を行う。
				目標数値	2	実績数値	1	目標数値		実績数値						A		A		必要性	下げる	
経営発達支援事業	自立的経営ができる小規模事業者の育成、地域経済を支え得る小規模事業者の数の増加、交流人口の増加を背景とした消費需要の拡大、小規模事業に対するカスタムメイド支援体制の構築を行う。	・講習会開催回数及び受講予定者数 個別 25回 17人 ・資質向上事業 2回 18人	中小・小規模事業者	指標	講習会延開催回数 (達成度 33.3 %)			指標	資質向上事業実施回数 (達成度 66.7 %)			域内小規模事業者が抱えている課題を洗い出して、その課題をピンポイントで解消できるように専門家派遣を開催した。結果、市内商業・サービス業等の売上に貢献できた。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	経営発達支援計画の中でいるんなジャンルの個別相談を開催しているが、ニーズのある「事業環境変化対応事業」に変更して取り組む。
				目標数値	75	実績数値	25	目標数値	3	実績数値	2					B		B		必要性	廃止	
講演会開催事業	地区内の小規模事業者に対して必要な経営スキルやマネジメント情報を与えて、課題を克服するための一助となる講演会を行う。	新春講演会参加者80名	小規模事業者	指標	講演会参加者数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			知見のある方の講演会を開催することにより、小規模事業者の経営戦略や経営方針を見つめなおす機会となった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果 事業者への	満足度	補足	目標①	目標②	域内小規模事業者の経営力向上に寄与するようなテーマや講師の選定をする。
				目標数値	80	実績数値	80	目標数値		実績数値						A		A		必要性	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。